2017 年 第 27 回東アジア学会 福岡大学大会 プログラム
「東アジアの今日的課題」

日時：5 月 21 日（日）09:50 開始

場所：福岡大学２号館３階

受　　付 09:30 – 09:50（３階エレベーターホール）

自由論題 09:50 – 12:30（232 教室）

座長：藤川昇悟（西南学院大学）

「戦時期「満州国」における知識人のエスペラント運動－荒川衡次郎の言説と活動を中心に－」

報告者：譚謎（九州大学大学院博士後期課程）

「韓国の「恨(ハン)」と日本の「侘」「寂」「粋」の比較研究」

報告者：崔秀蓮（西南学院大学非常勤講師）

「クルーズ 500 万人時代に向けた九州地区の受入体制整備－地域 DMO および政府への提言－」

報告者：前嶋了二（JTB 九州・九州産業大学非常勤講師）

「カンボジアにおけるプレック・トノット多国間電力開発灌漑計画に関する一考察」

報告者：藤本穣彦（静岡大学）、友次晋介（広島大学）

昼　　食 12:30 – 13:30（理事会 23A）

会員総会 13:30 – 14:30（232 教室）

共通論題 14:30 – 17:15（232 教室）「東アジアの今日的課題」

会長挨拶：小川雄平（東アジア学会会長）

趣旨説明：安達義弘（帝京大学）

第１報告「安保理決議案第 2270 号採択過程－「法的拘束力」を中心に－」

報告者：趙一中（九州大学大学院博士後期課程）

討論者：綛田芳憲（立命館アジア太平洋大学）

第２報告「中国少数民族地区の観光開発と文化保存活動―雲南省瀘沽湖地区を例にして―」

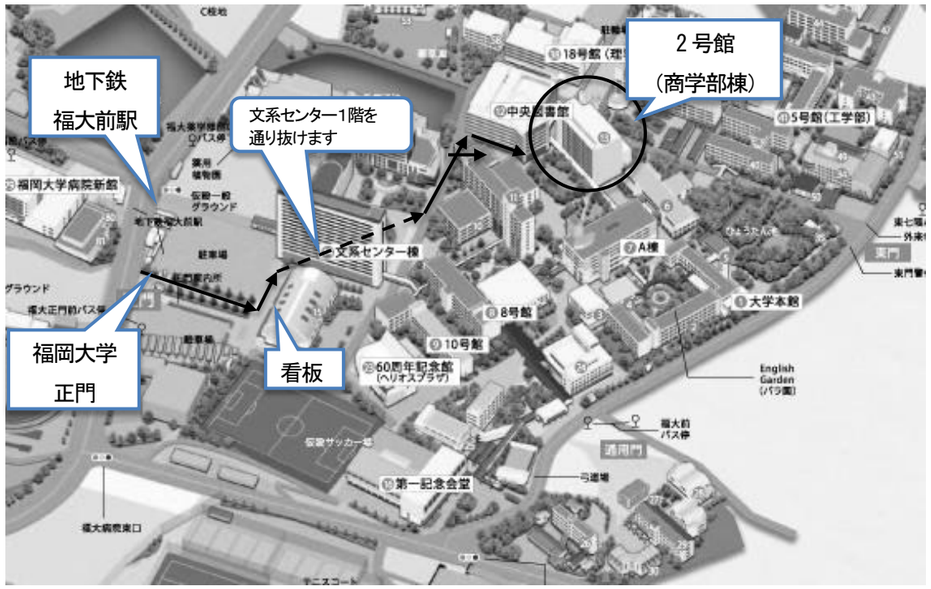
報告者：金縄初美（西南学院大学）

討論者：山田良介（九州国際大学）

第３報告「境界地域と隣国を繋ぐ新たな旅行「ボーダーツーリズム」の可能性」

報告者：島田龍（九州経済調査協会）

討論者：千相哲（九州産業大学）

懇 親 会 17:30 – 19:00（文系センター16 階特別室）

■ 会場へのアクセス（東アジア学会　福岡大学大会）